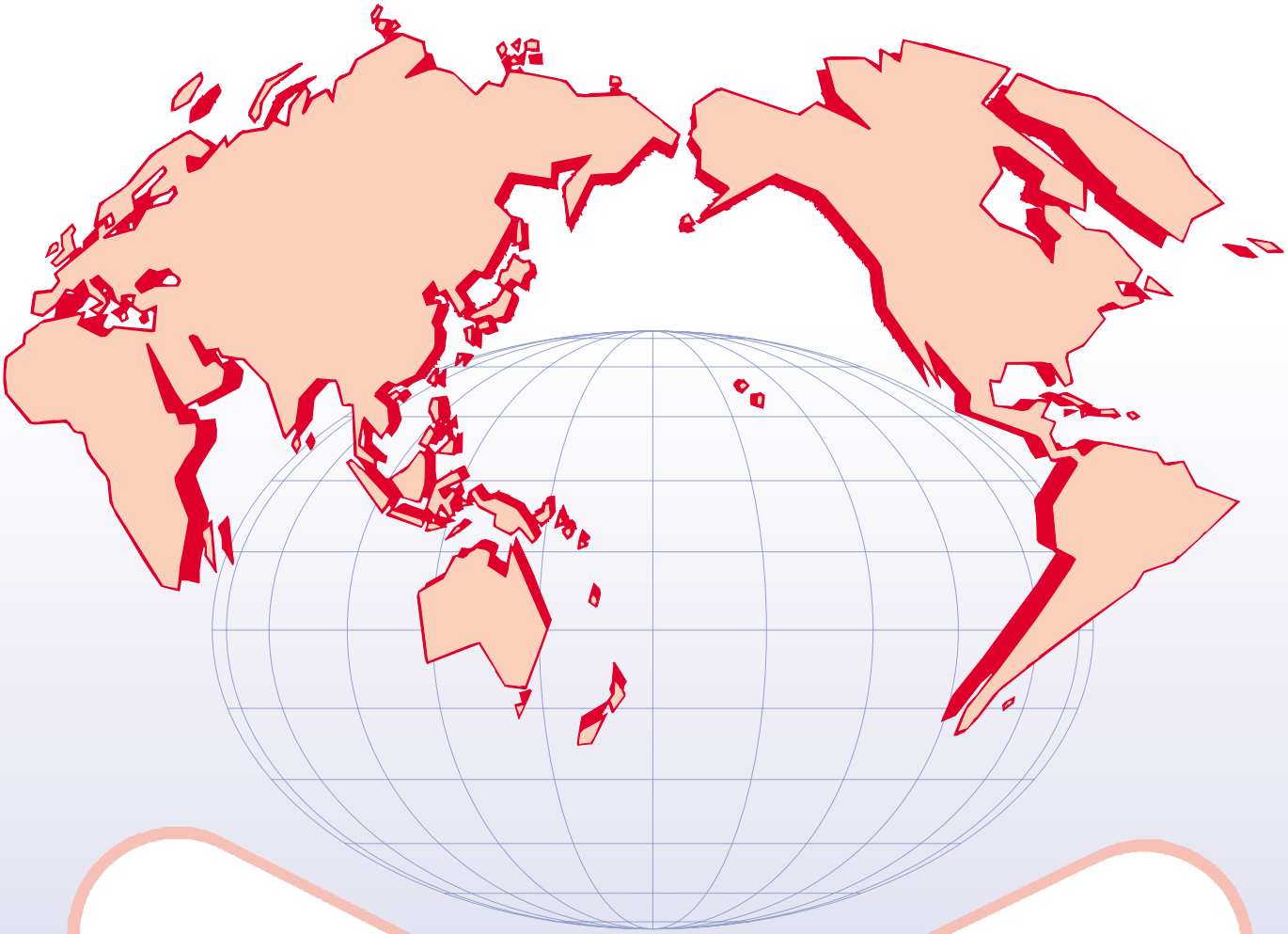
国際協力情報紙

であい

SUMMER

Vol.21

ボランティア、あれこれ JICAだより



国連は今年を「ボランティア国際年」と定めて、世界各国が、ボランティアに対する理解を深め、ボランティア活動に参加しやすい環境をつくり、ボランティア活動を押し進めるよう呼びかけている。

日本では、1993年の阪神淡路大震災に際して全国各地から大勢の一般市民が救援に駆けつけたことで一気にボランティアへの関心が高まり、最近は、「何か人の役に立ちたい」「自分にできることはないか」と考える人が増えているといわれる。今号ではＪＩＣＡの実施するボランティア事業の中から青年海外協力隊からの話題と、身近なところで見かけたボランティア活動をいくつか取り上げてみた。